

平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

西山本小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年10月24日（土）午後7時30分～9時

開催場所：山本コミュニティセンター

参加者数：60名（男性41名、女性19名）

市出席者：田中市長、原副市長、中原教育長、阪口病院事業管理者、野村水道事業管理者、

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでのご意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 西山本小学校区地域レポート
- ④ 市政運営方針（平成21年度）
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>① - 1 地域の集会所について</p> <p>○ 地域で増えている高齢者が活発に活動をしていくためには、活動するための集会所が必要となり、また不足しているので小学校の場所を活用するなどして集会所の整備をしていただきたいと思います。</p> <p>①-2 公園の整備について</p> <p>○ 西山本小学校区は八尾市内での公園面積の順位が29小学校区のうち22位であり、公園やみどりの少ない地域となっているので、公園の整備をしていただきたいと思います。</p>	<p>○ 地域に集会所の用地が確保できれば建てることも可能ではありますが、用地が確保できない場合は、あき教室は少ないのですが学校と併設した形で地域の活動拠点を作っていければと考えております。また校区集会所を小学校区にひとつずつ作っていくことも必要であると考えております。</p> <p>○ 大阪府内でも八尾市は公園の少ない地域であるので、計画的な公園の整備を行っていきたいと考えております。</p>	<p>○ 小学校区集会所につきましては、コミュニティセンターなどの公的な集会施設がない小学校区に順次、整備しておりますのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、町会などで所有される集会所につきましては、地域住民の総意にもとづき整備いただくものであり、整備に係る費用に対し、補助金を交付しておりますので、ご相談いただきたいと思います。</p> <p>○ 西山本小学校区は市内の他の小学校区に比べて面積が狭い校区であり、且つ、既に住宅市街地が形成され、校区内には公園が少ないと認識しております。</p> <p>公園の整備には用地の確保や工事に多額の費用を要すことから、市内の公園整備は進んでいませんが、今後、借地等、地権者の協力が得られる用地があれば、公園整備について検討していきたいと考えております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>② - 1 近鉄河内山本駅の踏み切り問題について</p> <p>○ 前回のタウンミーティングでの意見の対応状況には、駅の高架ができるまでの問題の対応が何も載っていませんが、高架ができるまでの踏み切り問題の対策として、高齢者の手押し車の車輪などが線路の間にはさまらないようにゴムを入れていただいたり、また駅前踏み切りの西側の歩道は人がひとりしか通れない状態なのに自転車なども多く通り危険なので、拡幅をしていただいたり、また踏み切りのセンサーの反応によって警報機がすぐに鳴るので警報の間隔がなく大変危険ですので改善する対応をしていただきたいです。</p> <p>② - 2 病院への交通利便性について</p> <p>○ 市立病院が移転してしまいましたが、病院への交通利便性を高めるために例えば近鉄八尾駅から病院までの100円の市民バスを走らせ</p>	<p>○ 駅の高架化を遅らせている大きな理由としては、国と自治体と事業者の負担割合が明確でないことが考えられ、負担割合が明確に示されれば具体的な話を進めていけると考えております。踏み切りの拡幅につきましては、大阪府の所管部局と協議を行っていますが、踏み切り道改良促進法という法律の範囲で対応しているため、これ以上の拡幅はできないとの回答をいただいていますので、できればご指摘のとおり線路の隙間を埋めるという協議を近鉄と行っていきたいと考えております。</p> <p>○ 近鉄バスについては既存路線でも不必要なバス路線は廃止をしていただき、必要な路線については市が補助金も出しながら市民の交通利</p>	<p>○ ご指摘の踏切の歩道部分の改善に関しては、これまでに様々な対策が実施されてきたところではありますが、拡幅を行う場合は、踏切道改良促進法等により当該踏切単体の拡幅を図ることは困難な状況であります。</p> <p>そのため、安全な踏切南北の移動を図るため、踏切以外で鉄道敷を横断できる新たなルートの確保等、今の段階で講じることが可能な対策を進め、利用者が横断しやすい環境整備に取り組みたいと考え、昨年度に河内山本駅舎構外の南北にエレベーターを設置したところであります。</p> <p>今後も引き続き、踏切内歩道部分を通行する際に、自転車に乗ったままの通行や速いスピードで走行する等の無謀な面が見受けられますので、利用者のマナーの改善に向けた啓発等に努めてまいります。</p> <p>○ 現在、市内全体の交通体系を検討している中で、様々な手法や仕組みについて考えているところであり、市民の移動の利便性が高まる</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
<p>るなどしてはどうですか。</p> <p>②-3 自主防災組織の消火栓の使用について</p> <p>○ 自主防災組織は消火栓を使用できないと回答されていますが、法的にはできないとはなっていないので、自主防災組織が活発に運営していることも踏まえて使用できるように再度検討していただきたいです。特に普通の火事ではなく地震のときはすぐに消防にも来てもらうことが困難ですので、自分たちで消火活動をする必要があることも考えていただきたいです。</p>	<p>便性が高めていけるような市内のバス路線全体の見直しの話し合いをしております。市内の事業所などもバスを出していますので、市民が利用できるような仕組みづくりができないか、バスを走らせている団体、企業とも話を進めているところであります。</p> <p>○ 法律上どうかというよりも消火栓の取扱いは水圧が高いため取り扱いが難しく危険であるので消防士に任せていただきたいと考えておりますが、一度消防とも協議をさせていただきたいと考えております。</p>	<p>よう考えてまいります。</p> <p>また、現在、アリオ八尾店から近鉄八尾駅を経由して市立病院まで行く路線バスが近鉄による運行がされておりますので、ご利用をお願いします。</p> <p>○ 大規模な地震災害発生時には、水道管を含む水道施設は市内各所で甚大な被害を受け、他のライフラインも同様に被害を受けるため、停電などにより送水・配水ポンプも停止し水が送れなくなるため、水道本管に設置されている消火栓を使用しての消火活動は確実性はありません。このため、消防本部としては、震災時の消火活動としての消火栓利用は、消火栓としての役割が低下するため、消火用水として河川、ため池等自然水利や耐震性防火水槽、プール等の多様な水利を確保していくことを想定しております。これは、消防本部が策定している「地震警備計画」にも謳われています。今回、以上などの理由により、ご相談のありました市民の方々が消火栓を使用されることにつきましては考えておりませ</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
		<p>ん。なお、消防本部の震災対策といたしまして、耐震性防火水槽と持運び可能な消防ポンプをセットにした整備を計画的に進めるとともに、自主防災組織に対する指導や防災リーダー育成研修会で、この消防ポンプの取扱い方法について指導も行っています。</p> <p>また、消防職員が定期的に防火水槽と消防ポンプの点検を実施し、いざというときに備えています。</p>
<p>③ 校区と町会の見直しについて</p> <p>○ 校区や町会の境界については大きな道路や河川で区切って見直しをしていただきたいです。</p>	<p>○ 校区の問題については一昨年から小学校・中学校校区のあり方検討会によって庁内で検討しており、昨年から小・中学校適正規模等審議会を設置させていただき、今議論を進めているところであります。また校区については、町会、自治振興委員会、民生委員・児童委員会の範囲とも連動していますので各種団体での協議を進めていただきたいと考えております。</p>	<p>○ 小・中学校については「小中学校適正規模等審議会」で、今後の児童生徒数の推移や傾向、課題等を含めて検討を進めているところです。審議会では、市立小・中学校の学校規模等の適正化についての基本的な考え方、および適正化の方策等について平成22年8月に提言を行う予定です。</p> <p>○ 市では、総合計画でまちづくりの単位を基本的には小学校区としていますが、町会の区域につきましては、地域の皆様による活動の歴史の中で定めてこられたという経緯もあろうかと思えます。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
		<p>今後、地域別計画の策定も踏まえ、地域の皆様と話し合いをさせていただき、区域についても検討させていただきたいと考えております。</p>
<p>④ 高齢者ふれあい農園について</p> <p>○ 昨年度のタウンミーティングで高齢者ふれあい農園について質問しましたが、昨年度の市政運営方針にはこのようなものの施行については公平でかつ適正な利用をするとされており、そうでないものについては改めていくとされていますが、担当課の書いた昨年度のタウンミーティングの対応状況と今後の方向性にはこの市政運営方針が反映されておらず問題があります。今後高齢者ふれあい農園についてはどのように対応されますか。</p>	<p>○ 対応状況と方向性については文言を一言一句載せているのではなく要約をしてわかりやすくしたものを記載させていただいています。2月以降に2回ほどアンケートを取り議論を進めながら民主的な運営に努めていると担当課からは聞いております。ご指摘をいただいている内容と農園全体の考え方とに違いがあるならば、歩み寄っていただきながらまた全体の意見を総意として、解決していきたいと考えております。</p>	<p>○ 農園運営につきましては、各農園で自主的な運営・管理をいただいておりますが、市では農園の役員の方々と協議を行う中で、多くの会員の意見を反映していただくよう依頼しています。幾度も説明させていただく機会を持たせてもらいましたが、農園の運営には各農園毎で特色や違いがあるものの、それぞれの農園において会員が単に意見をぶつけあうのではなく、お互いに建設的に意見を交換したりしながら、集約された全体の意見を尊重した農園の運営について、ご協力を賜りたいと存じます。</p>
<p>⑤ 計画道路について</p> <p>○ 西山本小学校の西側の道路は25メートルの都市計画道路であると聞いていますが、40年前から進んでいないそうですが、計画はどうなっていますか。</p>	<p>○ ご指摘の都市計画道路につきましては、必要な道路として認識しておりますので、変更をかけずに現計画が残っております。この都市計画道路は全長が5,230mのうち完成が2,250mで完成率は43%になってはいますが、全体の都市計画道路の中で優先順位をつけながら</p>	<p>○ ご指摘の都市計画道路東大阪中央線は、中央環状線や外環状線と並ぶ八尾市の中央部の南北軸として位置付けられており、道路ネットワークに不可欠な路線であることから、今後も引き続き整備に努めていきたいと考えております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年11月現在)
	進めていきたいと考えております。	
<p>⑥ 市立病院について</p> <p>○ 市立病院では余分に診察料がかかりますか。</p>	<p>(阪口病院事業管理者)</p> <p>○ 医療が高度化している中、医療の役割分担が必要となりますので、まず、地元のかかりつけ医となる開業医で診察を受けていただき、入院などの高度な医療が必要であれば、紹介状を作成してもらいそれを持って市立病院にきていただくことになっております。その紹介状がない場合は選定療養費として1,500円いただく制度となっております。</p>	<p>○ 国の医療政策により、まず診療所などの地域のかかりつけ医で診察を受けていただき、入院や検査などの高度な医療が必要となった場合には、紹介状により急性期を担う病院を受診していただくという制度になっていることから、紹介状がなく、初診で病院を受診される場合には、選定療養費という費用を徴収する制度が認められております。当院におきましては、そういったことから、選定療養費を1,500円と設定し徴収させていただいております。制度の主旨をご理解いただきますようお願いします。</p>